

正誤表（達成状況評価）

57：兵庫教育大学

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	p.1	令和元年入学生から	令和元年度入学生から	脱字があったため
02	p.3	Teacher's Standard-based Score	Teachers' Standard-based Score	表記に誤りがあったため
03	p.4	『教員養成スタンダード（大学院）に基づく学生の力量形成の現状』	『教員養成スタンダード（大学院）に基づく学生の力量形成の状況』	名称に誤りがあったため
04	p.4	入学者 37 人	入学者数 37 人	表記を統一するため
05	p.4	教員養成・高度化センターを創設し、	教員養成・研修高度化センターを創設し、	名称に誤りがあったため
06	p.5	教材文化資料は、開設以来	教材文化資料館は、開設以来	脱字があったため
07	p.5	令和元年度後期展は、21 回目となり	令和元年度後期展は、21 回目となり	表記を統一するため
08	p.8	複数教科の免許状がとれるよう保証をした。	複数教科の免許状がとれるよう保証した。	自然な表現にするため
09	p.8	平成元年度開設科目から	令和元年度開設科目から	誤字があったため
10	p.9	自立的な学習者となるべく	自立的な学修者となるべく	表記を統一するため
11	p.9	Teacher's Standard-based Score	Teachers' Standard-based Score	表記に誤りがあったため
12	p.11	『教員養成スタンダード（大学院）に基づく学生の力量形成の現状』	『教員養成スタンダード（大学院）に基づく学生の力量形成の状況』	名称に誤りがあったため

正誤表（達成状況評価）

13	p.13	『教員養成スタンダード（大学院）に基づく学生の力量形成の現状』	『教員養成スタンダード（大学院）に基づく学生の力量形成の <u>状況</u> 』	名称に誤りがあったため
14	p.15	「社会系マネジメントコース」	「社会系 <u>教科</u> マネジメントコース」	名称に誤りがあったため
15	p.19	平成 28 年～令和元年度の間 93 人（平成 28 年は 22 人、	平成 28 年 <u>度</u> ～令和元年度の間 93 人（平成 28 年 <u>度</u> は 22 人、	表記を統一するため
16	p.28	継続して教員採用支援対策の取組を実施すると共に、	継続して教員採用 <u>試験</u> 対策の取組を実施すると <u>ともに</u> 、	誤字があったため、 より適切な表記にするため
17	p.28	現職教育をはじめとする教育実践学を志す人材	現職 <u>教員</u> をはじめとする教育実践学を志す人材	誤字があったため
18	p.31	令和 3 年度からの入学者選抜試験において、専門職学位課程において	令和 3 年度からの入学者選抜試験 <u>では</u> 、専門職学位課程において	「～において」が重複していたため
19	p.31	「日本語型教育を学び主に母国における教育の向上に貢献することを目指す」留学生を受け入れることを明記し、	「日本語型教育を学び主に母国における教育の向上に貢献することを目指す留学生を受け入れる <u>」</u> ことを明記し、	括弧の位置に誤りがあったため
20	p.33	研究成果をリポジトリに登録することにより内外に向け発信する。	研究成果をリポジトリに登録することにより <u>学</u> 内外に向け発信する。	脱字があったため
21	p.34	「理論と実践の融合」に関する学際的な共同研究の募集を開始した。	「理論と実践の融合」に関する学際的な共同研究の募集を開始した。 <u>（別添資料 2-1-1-1-a 参照）</u>	記載漏れがあったため
22	p.34	オープンアクセス（以下「OA」という）について検討を開始した。平成 29 年度に OA 指針を策定し学内に周知を行った。また効率的に研究成果を収集・発信するために、平成 30 年度にリポジトリのクラウド化及	オープンアクセス（以下「 <u>OA</u> 」という）について検討を開始した。平成 <u>29</u> 年度に <u>OA</u> 指針を策定し学内に周知を行った。また効率的に研究成果を収集・発信するために、平成 <u>30</u> 年度にリポジトリのクラウド化及	フォントを統一するため

正誤表（達成状況評価）

		び教員が自らリポジトリに論文を登録できるセルフアーカイブの機能改修を行った。令和2年2月の Researchmap 更新に伴い、リポジトリ、Researchmap、研究者総覧システムの三者を連動させ、研究成果の収集と発信を行うようにした。	び教員が自らリポジトリに論文を登録できるセルフアーカイブの機能改修を行った。令和2年2月の <u>Researchmap</u> 更新に伴い、リポジトリ、 <u>Researchmap</u> 、研究者総覧システムの三者を連動させ、研究成果の収集と発信を行うようにした。	
23	p.36	プロジェクトの進捗管理は連合研究科代議委員会で行った。	プロジェクトの進捗管理は連合 <u>学校教育学</u> 研究科代議委員会で行った。	略式の名称であったため
24	p.37	URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレータ）室において	URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレータ <u>二</u> ）室において	脱字があったため
25	p.39	兵庫教育連合大学院学校教育学研究科は、	<u>兵庫教育大学大学院連合学校教育学</u> 研究科は、	名称に誤りがあったため
26	p.39～p.40	連合研究科代議委員会プロジェクトの進捗管理を行った	連合 <u>学校教育学</u> 研究科代議委員会プロジェクトの進捗管理を行った	略式の名称であったため
27	p.41	グローバル化教育推進リーダーコース	グローバル化 <u>推進教育</u> リーダーコース	名称に誤りがあったため
28	p.46	教員委員会と連携し、	<u>教育</u> 委員会と連携し、	誤字があったため
29	p.48	人材登録制度の運用を開始した（令和元年度末時点で登録者 31 人）	人材登録制度の運用を開始した（令和元年度末時点で登録者 31 人）。 <u>。</u>	句点がなかったため
30	p.50	「海外体験教育実習」	「海外 <u>教育体験</u> 実習」	名称に誤りがあったため
31	p.50	既に合格しているものを除いて	既に合格している <u>者</u> を除いて	漢字のほうがわかりやすいため
32	p.52	学校現場教育における実践力	学校 <u>教育現場</u> における実践力	誤字があったため

正誤表（達成状況評価）

33	p.53	「海外体験教育実習」	「海外 <u>教育体験</u> 実習」	名称に誤りがあったため
34	p.55	映画会上映会やコンサート、	<u>映画上映会</u> やコンサート、	誤字があったため
35	p.56	学習支援事業を実施した。	学 <u>修</u> 支援事業を実施した。	表記を統一するため
36	p.56	学習支援機能を向上させる。	学 <u>修</u> 支援機能を向上させる。	表記を統一するため